

新型コロナウイルス情報

問い合わせ

草加市新型コロナワクチンコールセンター
☎0570-666-578

☎☎を含む午前8時30分～午後5時15分

4回目接種について

接種 3回目接種から5ヵ月たったら

予約 接種券が届いた人から、コールセンターまたは予約システムで。

対象者① 60歳以上の人

接種券発行の「申請が不要」

3回目接種完了時期をもとに、草加市に住民票がある人へ接種券を順次発送しています。

3回目接種完了	接種券到着 (目安)
令和4年1月末まで	到着済み
2月15日まで	6月14日(火)～17日(金)
2月28日まで	6月28日(火)～7月6日(水)



予約システム操作支援窓口を再開します

期間：6月13日(月)～7月20日(水)の平日
場所：市役所西棟 午前8時30分～午後5時
文化センター 午前9時～午後5時
(新里・谷塚・新田西・川柳)
持ち物：接種券付き予診票・本人確認書類

対象者② 18～59歳の基礎疾患のある人

4回目接種を希望する人は、接種券発行の「申請が必要」

事前にかかりつけ医と相談の上、判断してください。次のいずれかの方法で申し込みます。接種券は、3回目の接種日をもとに発送します。また、申請を受け付けてから2～4週間程度の時間がかかる場合があります。

電子申請	草加市電子申請・届出サービス(右記QRコード) ※3回目接種日時時点で草加市に住民票がある人のみ電子申請可。	
郵送・窓口申請	<ul style="list-style-type: none"> ●必要書類 <ul style="list-style-type: none"> ・【4回目用】接種券発行申請書(市HPまたはコールセンターへの依頼で入手できます。市役所西棟、第2庁舎受付、市民課、サービスセンター、障がい福祉課でも配布)。 ・3回目接種をしたことがわかるコピー(接種済証や接種記録書等) ●提出先 <ul style="list-style-type: none"> 〒340-0016中央1-5-22(保健センター内)新型コロナウイルス対策課 	 ▲申請ページ ▲草加市HP

☎新型コロナウイルス対策課☎922-1839☎927-0501

「二十歳のつどい」実行委員募集

☎生涯学習課☎922-2819☎922-3498
✉shogaigaku@city.soka.saitama.jp

令和5年1月9日(祝)に開催する「二十歳のつどい」の企画・運営等を行う実行委員を募集します。

- 対象 平成14年4月2日～同15年4月1日生まれの市内在住者
 - 活動内容 式典内容や開催テーマ等の検討(8月から月1回程度の委員会に参加)、当日の司会進行等
- ☎6月30日(木)までに生涯学習課へ(ファクス・メールも可)。



奥の細道サミットin草加

☎実行委員会事務局(文化観光課内)～HAIKUは世界語～
☎922-2968☎922-3406✉bunkakanko@city.soka.saitama.jp

松尾芭蕉が記した「おくのほそ道」ゆかりの自治体等が参加する「奥の細道サミット」が、約30年ぶりに草加市で開催されます。国内外で愛されているHAIKU(俳句)をテーマに、豪華なゲストや市内中学生によるステージイベントを行います。



第40回記念草加市美術展



作品募集

☎文化観光課☎922-2968☎922-3406

- 対象 15歳(中学生を除く)以上の市内在住・在勤・在学者と市内公共施設で活動している人
- 募集部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真
- 出品料 1点につき1000円(各部門1人1点。彫刻・工芸は2点まで可)
- 申込書 文化観光課、公民館ほかで配布。市HPでも入手可
- 申し込み 作品に申込書と出品料を添えて搬入日にアコス会議室・ギャラリーへ。
- 作品搬入日 10月8日(土)・9日(日)いずれも午前10時30分～午後5時

できごとまちかど 5月

15日 おくのほそ道 旅立ちの日に芭蕉像・曾良像「お身拭い」が行われました



主催：草加宿神明庵運営協議会
草加市奥の細道市民推進委員会

松尾芭蕉と河合曾良がおくのほそ道の旅の1日目に訪れた5月16日(旧暦3月27日)を前に、芭蕉像・曾良像のお身拭いが行われました。約60人が参加し、制作者の市内在住の彫刻家・麦倉忠彦さんも訪れ、1年の感謝をこめて像を清めました。参加したお子さんは、「初めて、像にさわった」と嬉しそうに松尾芭蕉像を拭っていました。

19日 集団接種が苦手な障がいのある人を対象にワクチン接種が行われました



であいの森で、障がいがある人を対象に新型コロナウイルスワクチン3回目の接種を実施しました。これは、通常の集団接種が難しい人に対して、接種できる機会を提供できないかと、障がい者施設から相談を受けたことをきっかけに実施したものです。接種希望者に施設職員帯同のもと、安全に行われました。